課題図書レポート-アジャイルな見積もりと計画づくり-

2022/12/19

本社システム課　町田

■本書を選定した理由

プロジェクトにおいて見積もりと計画がづくりどのように行われているかについてその一端を理解するため。

また、チケット見積もる際の手法を学ぶため。

■学んだこと

●計画づくりの目的

　「何をつくるべきか？」という問いに答えることが計画づくりの目的である。よい計画づくりは、リスク/不確実性の低減・意思決定の支援・信頼の確立・情報の伝達といったソフトウェア開発の問いに対する答えを見つけるプロセスである。

　アジャイルな計画づくりでは、計画をつくることに重点を置く。変化に対応するためには計画の見直しが必須だからである。変化とは、ユーザーの要求の変更やチームメンバーのプロダクトに対する知識(**プロダクトナレッジ**)とプロジェクトについての知識(**プロジェクトナレッジ**)が深まるなど、プロジェクトに影響を与えるものである。こうした変化を計画に反映することが価値あるソフトウェアを開発するうえで重要である。

・プロダクトナレッジ…何を開発するかについての知識。ドメイン知識。

・プロジェクトナレッジ…どのように開発するかについての知識。利用する技術や

　チームメンバー同士での連携の仕方など指す。

●

●

■重要だと思ったこと(業務で活かすこと)